

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用者調査(2020年5月調査)】

※調査名称に調査実施時期を明記することといたしました。

I 調査の概要

2019年10月～2020年3月に住宅ローン（フラット35を含む。）の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2020年5月26日～6月4日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

<> は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用した金利タイプでは、引き続き、「変動型」が約6割 <p.2>

- ・「変動型」：60.2%（2020年3月調査^(※) 59.0%）
- ・「固定期間選択型」：26.6%（同 26.7%）
- ・「全期間固定型」：13.2%（同 14.3%）

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて、「現状よりも上昇する」、「ほとんど変わらない」が減少、「現状よりも低下する」、「見当がつかない」が増加 <p.11>

<今後1年間の住宅ローン金利見通しについて（全体）>

- ・「現状よりも上昇する」：20.1%（2020年3月調査^(※) 21.3%）
- ・「ほとんど変わらない」：57.3%（同 62.5%）
- ・「現状よりも低下する」：10.9%（同 7.0%）
- ・「見当がつかない」：11.7%（同 9.3%）

3 住宅ローンを選んだ理由は、フラット35以外の住宅ローン利用者では「金利が低い」、フラット35利用者は「返済額を確定しておきたかった」が最多 <p.15、p.16>

<住宅ローンを選んだ理由について>

- ・フラット35以外の住宅ローン利用者：「金利が低い」が72.6%で最多
- ・フラット35利用者：「返済額を確定しておきたかった」が58.8%で最多
次いで「金利が低い」が48.9%

(※) 2019年4月～9月に住宅ローン（フラット35を含む。）の借入れをされた方が対象